

16 世紀 有馬氏と周辺の人びと

— キリスト教伝来のころの島原半島の人たち —



有馬氏の居城 日野江城の階段遺構

16 世紀の半ばの戦国時代、伊勢神宮の御師（おし）が島原半島に下向し、為替（かわせ）を利用して盛んに伊勢参詣を勧誘していました。その時期は、キリスト教の伝来前後に当たります。御師たちの日記には、有馬氏、島原氏、神代氏、安徳氏、千々石氏など、現在の地名に由来する武将たちの名前がたくさん記載されています。今回は、キリスト教伝来のころ、半島内に居住していた人びとを紹介し、有馬氏の領主連合のあり方、彼ら一族の社会構造、及び文化・宗教についてお話しします。

◆日 時 平成 23 年 8 月 20 日（土）午後 2 時から

◆場 所 森岳公民館大ホール

◆講 師 ねい きよし 根井 浄 先生

（元龍谷大学教授：文学博士）

◆参加費 無 料



主 催：島原市・島原図書館・島原文化連盟

問い合わせ先 島原市市長公室 文化・スポーツ振興グループ 電話 68-5474